

2025年8月29日
地域活性化ワークショップ

空き家対策・中心市街地活性化・
産業創出等のまちづくり支援の取組みについて

株式会社地域デザインラボさいたま
地域共創ソリューション部長 鈴木 健

いっしょに成長



ラボたま
地域デザインラボさいたま



会社概要

商号	株式会社地域デザインラボさいたま (愛称:ラボたま)
本社所在地	埼玉県さいたま市浦和区常盤7-4-1
資本金	100百万円
株主構成	株式会社埼玉りそな銀行100%
従業員数	24名(常勤)
設立日	2021年10月1日

【社名の由来】

埼玉県のこまりごとをデザイン思考で解決していく事業会社として、各地域オンリーワンの色を出し、埼玉県の魅力・彩りを高めていく価値共創の拠点(ラボ)であることを意味しています。地元「さいたま」のための事業会社として埼玉りそな銀行の目指す姿である、「地元埼玉とともに発展する企業」の実現に向け、埼玉りそな銀行と共に挑戦してまいります。



目的

- 複雑化する地域のこまりごと解決のため、**従来の銀行の枠組みを超えた領域まで踏み込み、「広く・深く・長く」お客さまの発展に伴走する。**
- **地域を巻き込み地域課題解決のハブ機能を発揮**することで、**地域の自律的好循環を創出し、持続可能な地域社会づくり、地域との価値共創を目指す。**

主な事業

地域課題解決事業

～持続可能なまちづくりの実現に向けて、財源確保や地域の担い手づくりをサポート

産業創出支援事業

～産業創出支援を通じて、地域経済の活性化をサポート

保有資産利活用事業

～銀行が保有する資産(店舗等)を地域活性化のために活用

私たちは、地域の皆さまとともに、
地域の課題を解決することで、
持続可能な地域社会の実現に貢献していきます。

価値観

- 一、地域起点
- 一、想像と創造、挑戦
- 一、価値共創
- 一、個人の成長、組織の成長

ラボたまの事業領域

まちづくり分野・PPP/PFI活用促進



中心市街地や都市全体 / 一部、農村部、民間私有地等のグランドデザインや計画策定・実行・運営の一貫支援など



公共 / 民間施設の事業計画～基本構想・計画～設計の伴走支援、実施チーム組成・住民の合意形成・エリアマネジメント支援など

産業創出支援・りそなコエドテラス運営



起業家と地域の共創を目指したビジネスコンテスト、官民連携事業の実現に向けたピッチイベント開催や伴走支援など



産業創出・育成支援や地域の魅力を伝える川越、埼玉のブランディング拠点として地域活性化をミッションとした「りそなコエドテラス」（旧川越支店）R6.5.15オープン

観光・河川利活用コンサル



地域事業者・観光協会等と連携した観光体験事業の造成や誘客、河川・水辺の賑わい創出、オーバーツーリズム対策等

空き家対策支援



放置空き家の発生抑制や、空き家の新たな利活用等による自治体・地域の空き家対策支援

地域DX

中小企業のIT・DX化支援を通じた過疎地域の課題解決に向けた取り組み（地域おこし協力隊の活用）

環境・SDGs

持続可能なまちづくりに向けて、企業のSDGsや脱炭素への取り組みを後押しする座組の形成支援など

その他

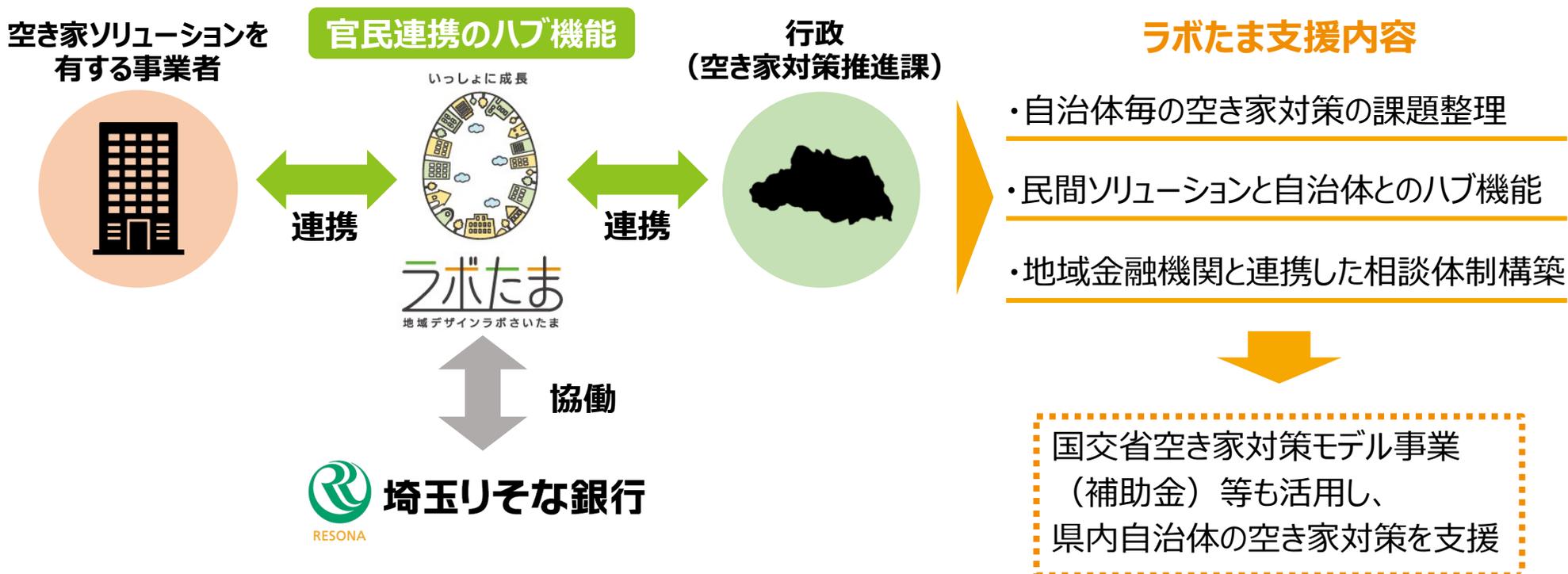
企業版ふるさと納税支援

空き家対策の取組



- ◆ 自治体の空き家対策計画等に基づき、具体的な対策を推進するための官民連携事業を実施。
- ◆ 空き家に関するソリューションを持つ民間(スタートアップ等)とのハブ機能を果たし、自治体の空き家対策を支援。

空き家対策の官民連携イメージ



空き家対策上の
主な分類

具体的な
施策概要

発生抑制
啓発

- ✓ 空き家予備軍に対する啓発
- ✓ 住まいの終活に関する相談会

調査・把握

- ✓ 自治体職員、自治会、民間等による実地調査・データ化
- ✓ 所有者探索・アプローチ

相談体制
構築

- ✓ 専門家等と連携したネットワーク構築
- ✓ 相談窓口設置・周知

適正な
管理

- ✓ 行政指導（剪定、見回り等）
- ✓ 所有者に対する啓発
- ✓ 管理サービス会社との連携

利活用・流通
促進

- ✓ 移住施策・プロモーション
- ✓ 空き家バンク登録推進
- ✓ 利活用に関する補助金

除却・解体

- ✓ 行政代執行
- ✓ 民間と連携した解体シミュレーション
- ✓ 解体・除却に関する補助金

行政が効果的な対策を打ち出し切れておらず、かつ、空き家が発生してからの“対処療法”では限界が来る中で必要となる
「（放置）空き家の発生抑制」

“住空間”としての利活用（売却・賃貸）とは別軸での
「新たな空き家の利活用」

R5年度
R6年度
国交省補助事業
採択案件
【主な連携先】

事例①

鶴ヶ島清風高校へのカリキュラム提供を通じた空き家対策
【鶴ヶ島市・空き家活用(株)・埼玉りそな鶴ヶ島支店】

事例②

県内自治体との連携による
空き家の発生抑制に向けた取り組み
【8自治体・マイクロベース(株)・埼玉りそな各支店】

空き家“予備軍”への官民連携アプローチによる
発生予防モデル
【深谷市・マイクロベース(株)・埼玉りそな深谷支店】

事例③

時間貸しによる空き家等の新たな利活用・
地域コミュニティ創出に関する取り組み
【坂戸市・(株)Rebase】

「旅人」による新たな働き方と観光需要を捉えた空き家利
活用・啓発モデル
【寄居町・(株)SAGOJO】

インバウンド需要を捉えた空き家利活用の活性化
に向けた取り組みと調査事業について
【VponJAPAN(株)・(株)彩いろまち研究所】

埼玉県内の空き家活用（まちづくり）事業者のプラットフォーム構築モデル
【埼玉県・(一社)タガヤス】

事業概要 空き家の発生抑制に関する効果的な啓発を目的に、高校生の「探究学習」のテーマとして地域課題の空き家を設定。住教育として空き家問題を学習するとともに、生徒の取組み状況を地域に啓発・周知することで保護者を含む地域住民へ相続対策を中心とする空き家予防の啓発を実施。

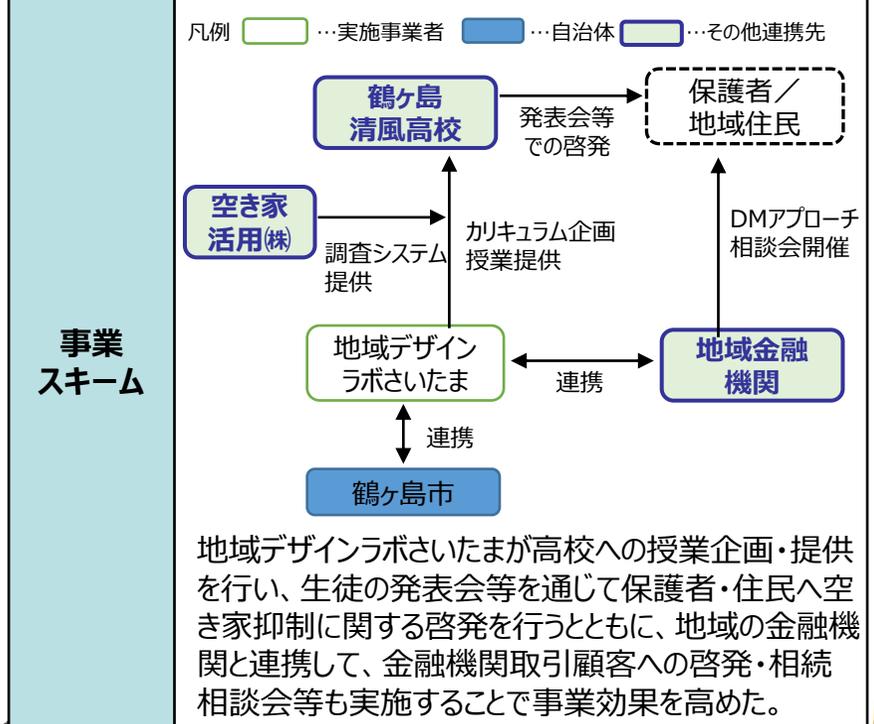
事業者情報

団体名	株式会社地域デザインラボさいたま
所在地	埼玉県さいたま市浦和区常盤7-4-1
設立時期	2021年10月
団体HP	https://www.saitamaresona.co.jp/labtama/

取組内容及び成果

- 1. 授業カリキュラムの作成・講義の実施**
- ✓ 高校生に住教育の一環として空き家課題の理解を深めてもらうとともに、フィールドワークも取り入れた地域探究も組み込んだカリキュラムを作成。
 - ✓ 自治体のまちづくりや全国的な空き家課題の背景、問題点等を幅広く学んでもらう探究学習の講義テキストをオリジナルに作成。

活動地域 埼玉県鶴ヶ島市



- 2. フィールドワークの実施**
- ✓ 生徒による市内の空き家外観調査を実施し、地域の空き家に関する肌感覚や、利活用の研究に繋がった。
 - ✓ 他地域から移住し、空き家を活用している移住者への生徒によるインタビューを実施し、利活用の工夫・課題等を学んだ。

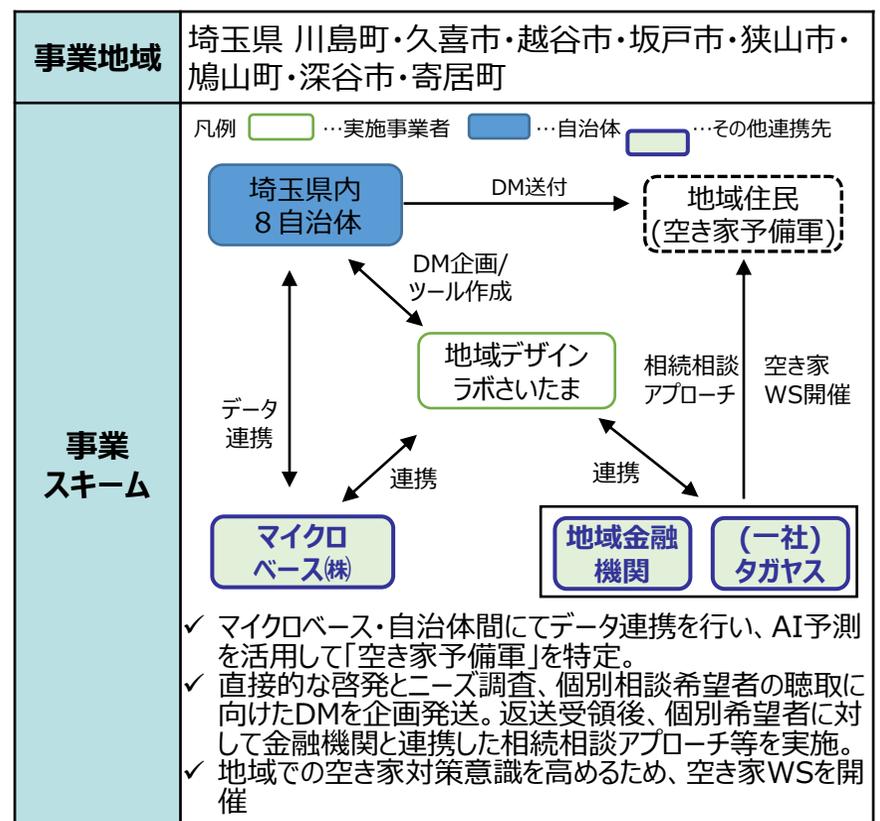


- 3. 効果的な啓発活動の展開**
- ✓ 生徒の学習結果・空き家に関する提言を保護者を含む住民への発表会にて披露し、発生抑制の啓発を実施。
 - ✓ 生徒の学習風景を盛り込んだ「住まいの将来について考える」ツールを作成・配布。
 - ✓ 地域金融機関と連携し、高齢者層への上記ツールと相続相談会をセットにした案内を実施(約600先へ送付)。
 - ✓ 生徒の学習経過を記事化し、Web媒体へ継続投稿。また、TV放映・新聞記事化等メディア露出も複数あり。



事業概要 自治体保有データを活用し、居住者が不在となる前の「空き家予備軍」を効率的・効果的に特定。“住まいの将来を考えてもらう”ことをテーマとした直接的なDMの実施とアンケート調査、個別相談希望者へのフォローを一気通貫で実施し放置空き家の抑制を推進。「空き家スゴロク」を活用した地域内でのWS展開により、非対面・対面両面での発生抑制対策を推進。

団体情報	
所在地	埼玉県さいたま市浦和区常盤7-4-1
設立時期	2021年10月
団体HP	https://www.saitamaresona.co.jp/labtama/



取組内容及び成果

1. データを活用した「空き家予備軍」の特定

- ・水道使用量等の自治体保有データを活用し、機械学習を用いて空き家発生予測を実施。
- ・エリア別の発生予測等を自治体と共有、今後の対策や本事業の施策検討として活用。



2. DM実施による直接的な啓発・ニーズ調査と個別相談対応

- ・空き家予備軍に対して「自治体からの挨拶状」・「住まいの将来を考える啓発ツール」・「ニーズ調査アンケート」を送付し、将来、放置空き家を生まないための意識醸成やニーズ調査を実施。
- ・住まいの将来に関する個別相談（遺言の作成等）希望がある住民に対して、地域金融期間と連携し、相談対応を推進。8自治体合計で約800件（現状推定）の個別相談希望を取得予定、埼玉県内の空き家発生抑制に関する意識醸成や具体的な対策に貢献。



3. 空き家WSの展開

- ・空き家問題を地域課題として捉えていただき、地域と行政が連携する対策を推進すべく、地域住民の意識向上に向けた空き家WSを8自治体で開催。
- ・(一社)タガヤスの空き家スゴロクを活用し、効果の高いWSを展開。

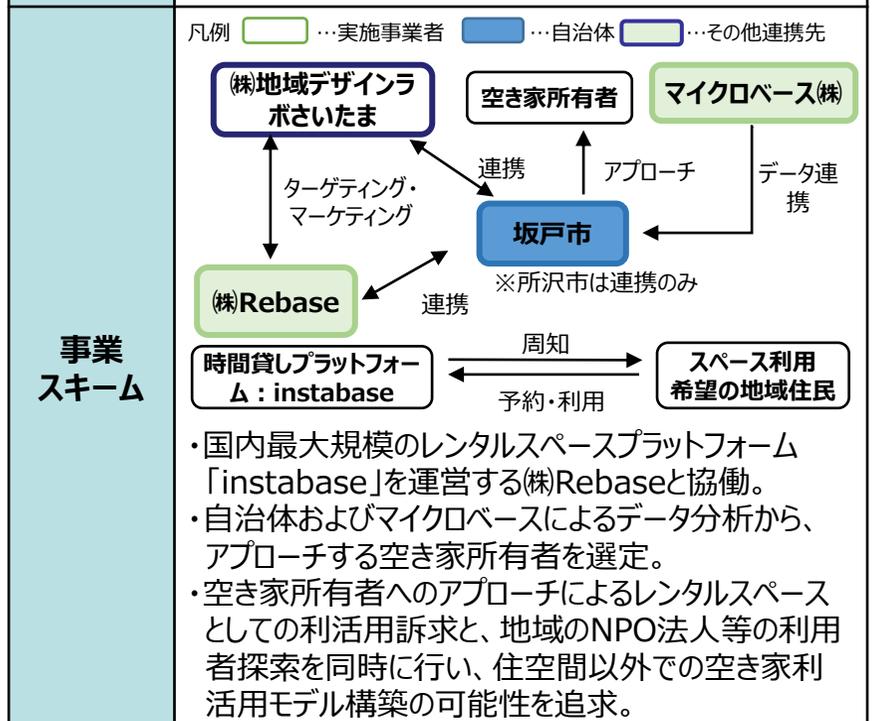


事業概要 “住空間”以外の空き家の新たな利活用・管理手法のモデル構築に向け、レンタルスペースの予約プラットフォームを運営するRebase社および自治体と協働し、空き家所有者へのアプローチ・ニーズ調査とレンタルスペース化に向けたフォローを実施、併せて、団地・共同住宅における空室等の課題解決に向けた時間貸しによる空間利活用の検討を実施。

団体情報

所在地	埼玉県さいたま市浦和区常盤7-4-1
設立時期	2021年10月
団体HP	https://www.saitamaresona.co.jp/labtama/

事業地域 埼玉県 坂戸市（所沢市）



取組内容及び成果

1. “時間貸し”実証に向けた空き家のマーケティング・ターゲティング

- 時間貸し（＝レンタルスペース）として運用意向のある空き家所有者のマーケティング・ターゲティングに向け、インスタベース内の既存の空き家利活用事例を収集しエッセンスを抽出。
- 同時に、自治体所有データを活用したデータ面でのターゲティングも実施。
- また、需要サイドのマーケティングとして、空き家がレンタルスペースとして貸し出された場合の地域で想定される利用者のリストアップ等を実施。



2. ニーズ調査／喚起に向けたDM企画・実施と個別フォロー

- レンタルスペースとしての利活用訴求とニーズ調査に向けたDMを企画・実施。
- 啓発や事例訴求に関する冊子を作成、ターゲティングした空き家所有者へ自治体協働でDMを送付。アンケートによるニーズ調査と、スペース利活用について個別相談希望がある先へのフォローアップを行った。



3. 団地における空間利活用検討に向けたアプローチ

- 戸建て空き家と同様に課題となっている空室や団地空き空間等の利活用の実現に向け、官民連携での持続的なモデルを検討。
- 「住居兼店舗物件」に課題認識のある坂戸市のUR団地に対し、レンタルスペースとしての利活用を提案。現地実査等も含め、地域の賑わい創出にも繋がる官民連携モデルの構築を検討。

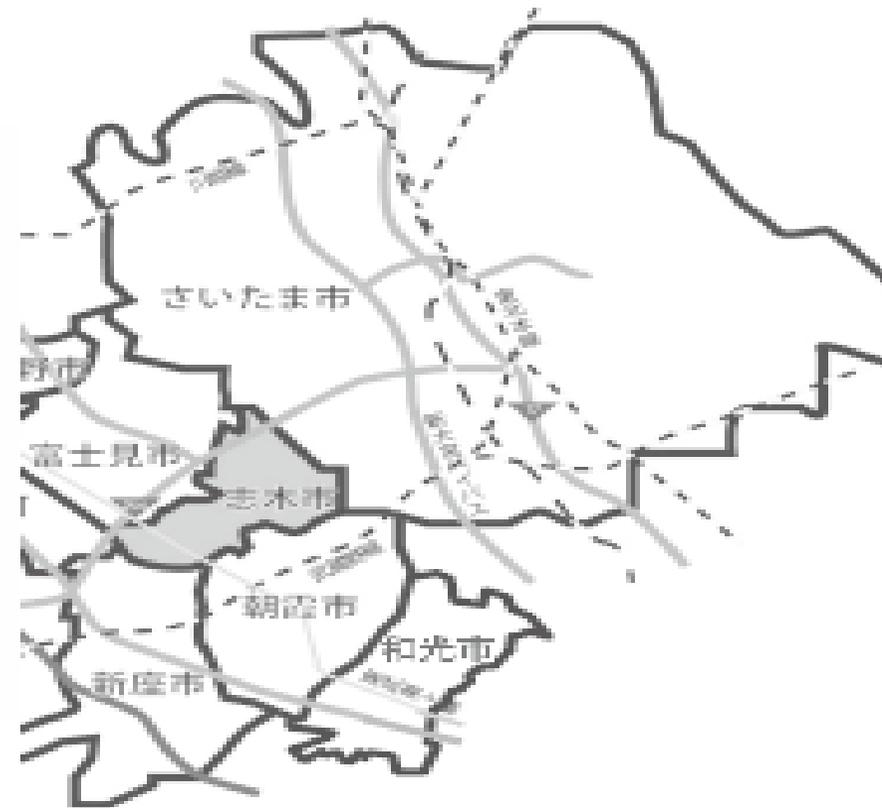
中心市街地活性化に関する取組



志木市の概要

- ◆ 人口: 76,231人 (令和7年4月30日)
- ◆ 面積: 9.05km²
- ◆ 位置: 埼玉県南西部、都市近郊25km圏内 (池袋駅まで20分)
- ◆ 特徴: 新河岸川、柳瀬川、荒川の3つの川があり、古くは新河岸川舟運の河岸場として栄える
志木駅の開設後は、商業都市・住宅都市として発展

志木市 位置図



参照：志木市将来ビジョン

志木市の中心市街地における課題

- 課題1: 集客力の低下と空き店舗の点在
- 課題2: 中心市街地の一体性・連続性の不足
- 課題3: 歩きやすさの改善による回遊促進

志木市の中心市街地化の方針

【経済活力の向上】

魅力的な個店が集積し、新たな魅力の創出につながるチャレンジの支援・促進

中心市街地全体の商業地としての活力の再生に向け、既存の個店の魅力を高めていくような取組や、個店間での相乗効果を発揮できるような商店街としての空き店舗対策や新規店舗等の立地を促進。

⇒目標:活発な商業活動が行われる環境の形成【建築確認申請件数】 全25事業

【にぎわい創出】イベント開催や情報発信の強化によるにぎわいの創出

中心市街地内の3ゾーンそれぞれの地域特性を生かしたにぎわい創出と、中心市街地が一体となって地域の魅力を発信できるようなイベントの充実、情報発信の強化を図る

⇒目標:公共空間を利活用しやすい環境づくり【イベント等実施団体数】 全20事業

【歩行空間等の環境改善】歩きやすさの向上・改善による回遊促進

駅前や今後整備が予定されている施設間の回遊促進に向け、道路事業の推進やモビリティの充実、滞留空間の整備等による歩きやすい環境への改善を図る。また、ゾーン間での回遊性を高めるため、それぞれの地域に滞留空間や都市福祉施設、商業施設等の目的地となる機能の充実を図る

⇒目標:出歩きたくなる環境づくり【自転車・歩行者通行量】 全20事業

ラボたまの取り組み

取組①：
「いろは親水公園」の民間活力活用検討

取組②：
担い手づくり支援

- ・まちづくり会社設立支援
- ・自走可能な事業計画検討

取組③：
まちづくり会社の伴走支援

- ・創業相談支援
- ・ウォーカブル推進事業支援
- ・チャレンジショップ事業支援

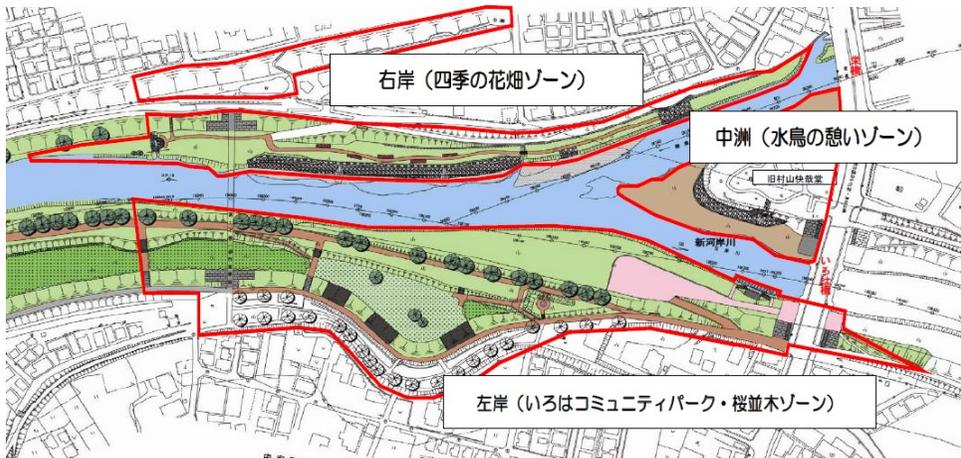
参照：志木市将来ビジョン

「いろは親水公園」の民間活力活用検討

【課題】 公園の魅力向上、民間活力活用導入 等

支援内容

- ①現状把握、基本条件の整理
- ②サウンディング型市場調査、個別対話の実施
- ③事業成立を考慮したスキームの検討
- ④基本計画の作成支援
- ⑤公募資料（案）の作成支援
→Park-PFI+DB+指定管理での公募



コロナ禍での公募でありながら、事業者決定

- ✓ 2022年度にリニューアルオープン
- ✓ 民間事業者の資金を活用し、財政負担が軽減（VFM10%以上）
- ✓ 再整備、管理運営を一体的に行うスキームにより、管理運営を見据えた再整備を実現、効率的な維持管理が可能となった
- ✓ 市のランドマークとなる新たな憩いの場が創出され、まちの魅力が向上

中心市街地活性化に係る担い手づくり支援

【課題】 中心市街地の活力向上のための担い手不足

支援内容

- ①担い手候補の探索・面談
- ②事業案の検討
- ③自走可能な事業計画案の作成支援
- ④出資者募集に関する支援
- ⑤会社設立に関する支援



志木市の商業の活性化、賑わい創出を目指す「まちづくり会社」が設立

- ✓ 2023年2月にまちづくり会社が設立
- ✓ 地域の関係者が一丸となって着実に事業を推進
- ✓ 主な事業は以下の通り
 - ・創業支援センターの運営
（創業支援、創業スクール、空き店舗マッチング、レンタルオフィス運営）
 - ・チャレンジジョブ事業
 - ・賑わい創出事業

まちづくり会社の伴走支援

【課題】 まちづくり会社の自走化、担い手の成長 等

支援内容

- ①創業支援センターへの定期常駐
- ②まちなか回遊促進の企画、実証支援
- ③市内における人流分析
- ④起業家や潜在起業家のコミュニティ形成支援
- ⑤チャレンジショップ導入支援
- ⑥まちづくり会社の人財支援

自走可能なまちづくり会社の骨格を形成

【実現したこと】

- ✓ 創業支援事業、チャレンジショップ事業
 - ・志木で創業したい起業家の発掘、事業化に向けた支援
 - ・2025年4月にチャレンジショップ1号店（創業者5名）が開業
→創業者の伴走支援も実施
 - ・2号店も2025年8月に開業予定（創業者4名）
→ブランド・回遊戦略に銀行、大学ゼミも関与中
 - ・創業支援センターの活性化と創業者ネットワーク構築
- ✓ まちなか回遊促進事業の実施
 - ・志木街バル、デジタルスタンプラリーの実施
→地域関係者のみならず、技術をもった大手企業とのコラボイベント
賑わい創出しながら人流分析を実施、他の施策にもデータを活用

志木街バル 2024 SHIKI town bar
地元のイイ店再発見!
チケット限定 300枚
チケットでお待たせ
3月27日(土)～3月30日(日)
参加店 20～30店
開催期間 1.27(SAT)-3.3(SUN)
「志木街バルの楽しみ方」
①バルチケットを購入 ②バルチケットをもってお店にGO! ③バルチケットで「バルメニュー」をGET!

志木で歩こう、健康で笑おう!
デジタルスタンプラリー
スタンプを貯めて景品GET!
スタンプラリー実施期間 12.14～1.31
3月27日(土)～30日(日)は 本題イベントも開催中!
交換できる景品
参加方法
Step.1 Step.2 Step.3 景品GET

4.12 sat AM11:00
GRAND OPEN
チャレンジショップ1号店
志木街づくり協
048-423-0410 shikimachi.com

志木の新しい顔の場。
日常を彩る4つのお店が同時オープンします。
OPEN 8/30 11:00
Challengeshop 「つどい」
特典 プレゼント

産業創出に関する取組 (りそな コエドテラス)



- ◆ 1918年建築の埼玉りそな銀行の前身銀行の一つである**第八十五銀行本店本館**をリノベーションした**施設全般を運営**。
- ◆ 産業創出・育成支援や地域の魅力を伝える**川越、埼玉のブランディング拠点**として**地域活性化をミッション**とする。
- ◆ 新たな産業の創出や起業家の育成に向けて**コワーキングスペース・インキュベーション事業、チャレンジショップ・地産地消のレストラン・埼玉ジェラートショップ**等を展開。国の登録有形文化財として、川越のランドマークとしてのプレゼンスを発揮。

2024.5.15 OPEN



- ◆ 国の登録有形文化財埼玉第1号
- ◆ りそなG傘下銀行 最古の銀行
- ◆ 埼玉の銀行発祥の地



旧頭取室（見学無料・予約可）

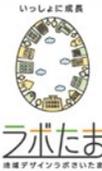
旧金庫室ギャラリー（見学無料）



施設コンセプト

100年以上の時を越えて生まれ変わり、"埼玉県の産業・観光・暮らしの好循環を創出し、**「地域の未来をプラスにする唯一無二の共創拠点」**"

運営統括



協働事業者



シェアオフィス



コワーキングスペース
（創業インキュベーション）



日替わりシェアキッチン
（BtoC開業支援）



チャレンジショップ
（テストマーケティング）



屋外イベントスペース
（テストマーケティング）



埼玉の地産地消
ジェラート



埼玉の地産地消
イタリアンレストラン



県内起業家ネットワークイベント

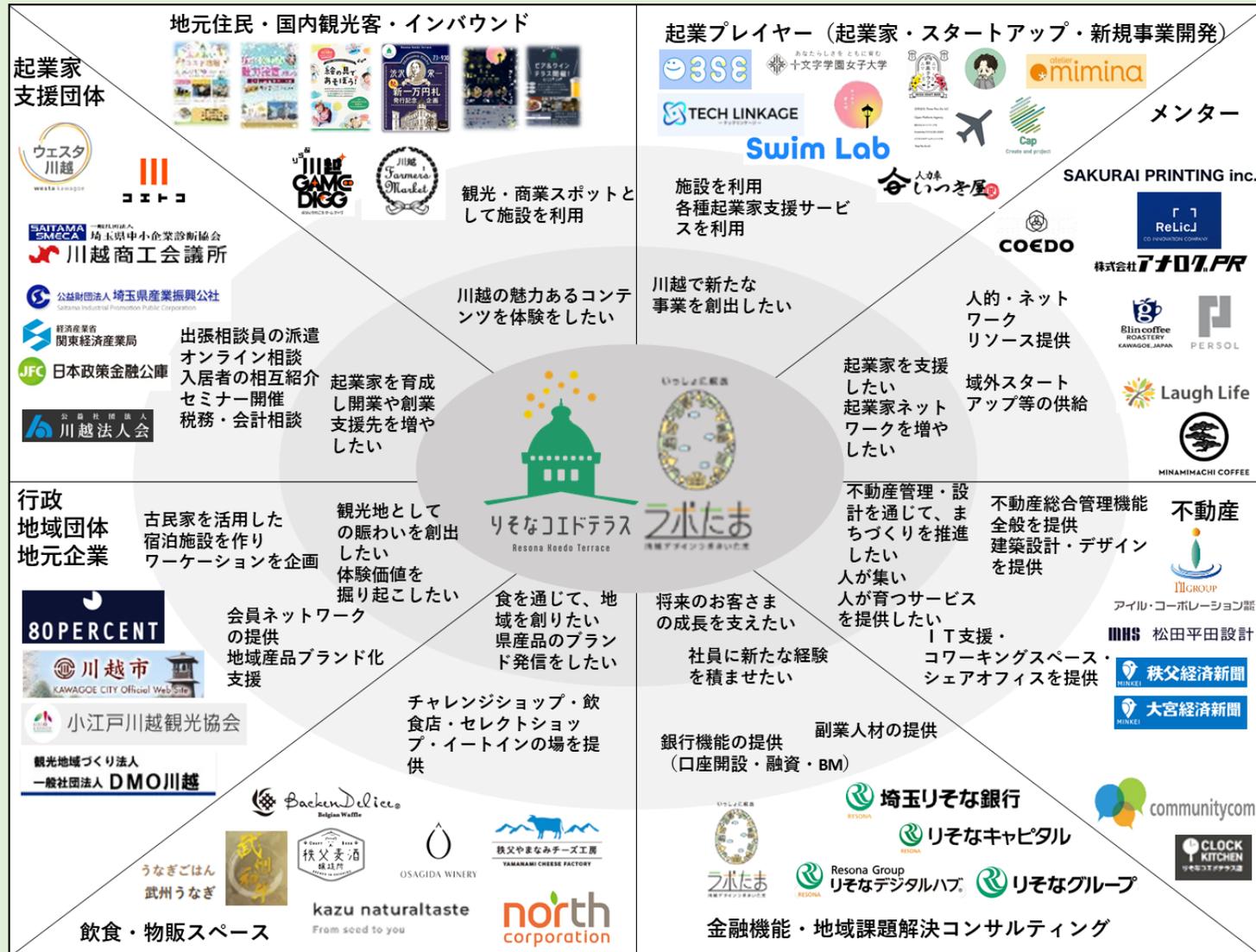


埼玉県内の各地域の起業家・経営者を発掘・紹介するとともに、埼玉地域起業家×埼玉地域起業家による共創が生まれる場をつくり、広域のコミュニティを形成していくために発足したプロジェクトです。

埼玉全63市町村制覇に向けて毎月りそなコエドテラスで開催中！



地域のプレイヤーとの広域のコミュニティを構築し順次拡大中



埼玉県内外のインキュベーション施設との相互連携を拡充し、イノベーション創出に向けたプラットフォームを構築していく

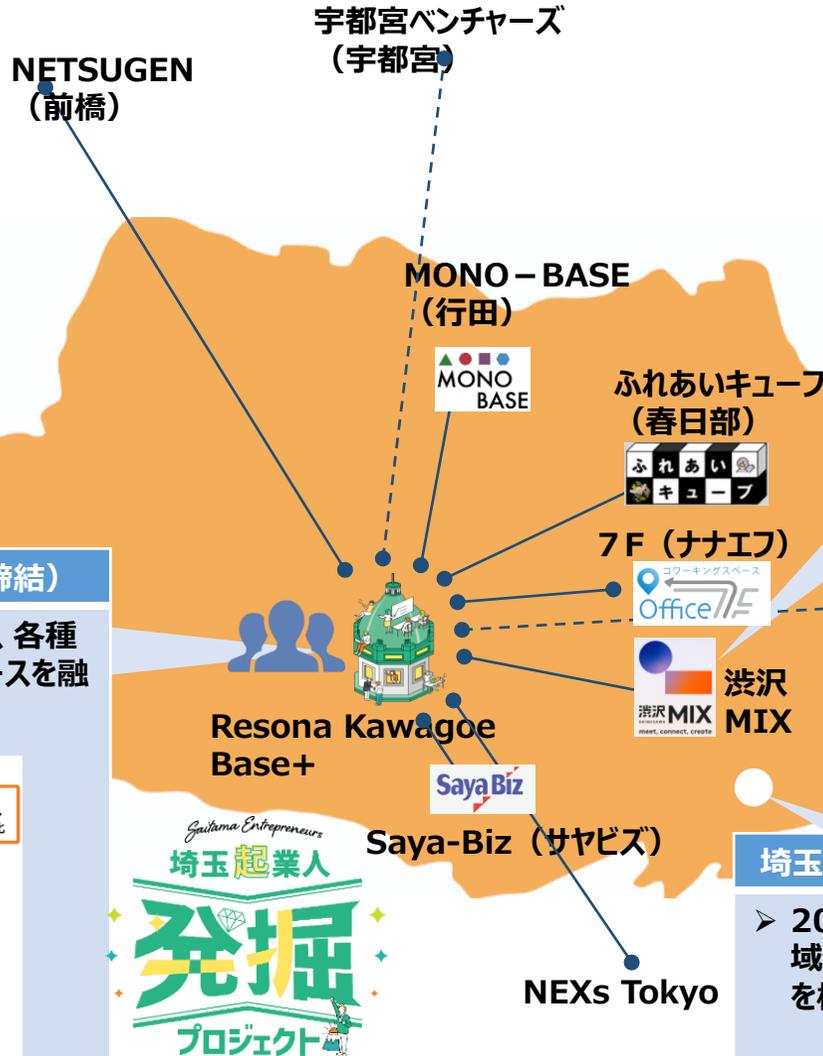
関東経済産業局1都10県（13施設） インキュベーション施設連携ネットワーク

- ▶ 関東経済産業局より紹介を受けた群馬県庁の運営する「NETSUGEN」との提携を開始（7/1～）
- ▶ 大宮のコワーキングスペース「ナナエフ」との提携（8/1～）順次拡充



川越市創業連携協定（5機関と昨年7月締結）

- ▶ 創業ワンストップ窓口設置、創業スクール、各種地域課題ワークショップ等、5機関のリソースを融通しシームレスな機能連携を展開



埼玉県/渋谷MIX（7/25OPEN）

- ▶ 7月9日起業人オールスター編×渋谷MIXプレイベント開催
- ▶ 各種プログラムの連携や利用者の相互利用などの連携協議等を開始



埼玉県ビジネス・インキュベーション連絡協議会

- ▶ 2024年度にネットワーク登録済。県内各地域のインキュベーション施設とのネットワークを構築



- ◆ 開業以来、各種メディアにも掲載いただき、地域の皆さまと共創したイベントなどを中心に埼玉県の魅力を広く発信。
- ◆ 多様な媒体で発信により、県外からの視察や地域の魅力を発信する共創イベントも多数ご相談いただいている。

種別	掲載先・掲載内容
TV	<p><2024年5月～2025年5月> 25番組 ニュース930plus、ANNニュース、NHKニュース（関東・山梨・長野）、首都圏ネットワーク、埼玉ビジネスウォッチ、王様のブランチ、ひるおび、Nスタ、ニュース545、めざましテレビ、なりゆき街道旅、スーパーJチャンネル、めざましどようび、埼玉の逆襲、ご当地サタデー、新春知事対談、せいやのタビカラ、ZIP!、ジモトピックス（マルシェ）、イト、よじごじDAYS</p>
新聞 雑誌 ラジオ WEB	<p><2024年5月～2025年5月> 68記事 ○オープニング関連（共同通信、産経新聞、読売新聞、朝日新聞、日経新聞、ニッキン、埼玉新聞、日刊工業、時事通信）○7/4・模擬紙幣、7/5連携協定、7/22スポーツイベント（埼玉新聞）○7/27ラジオ川越(百万灯まつり中継)○7/26 まちという埼玉 るるぶ7月号○手話カフェ（朝日、埼玉新聞、ニッキン、テレ玉、毎日）○コエドテラススケッチ(8/9埼玉新聞)○2Fテラスからの風景(8/10朝日新聞)○ラジオ川越(8/10)○ジェットロセミナー(日経新聞)○ことりっぴマガジン(9/10)○東京近郊散歩(2025-2026)○あべちゃんとかじこじの土曜の夜(11/2:ラジオ川越)○ハイウェイウォーカー(11/23:Webマガジン)○かわごえ市都市景観表彰(11/18:埼玉新聞)○この時間カフェ開業(11/15:川越経済新聞)○この時間カフェ開業(11/20:日刊工業新聞)○価格決め方セミナー(11/21日経)○12/10日経 Web○るるぶ&More(12/4:Webマガジン)○ことりっぴWeb(12/4 Webマガジン)○WORKMILL(12/16:コワーキング取材)○門平シェフ優勝(1/17読売新聞)○ビール王国(1/21)○日刊工業新聞(2/26)○ビジネスアイデアコンテスト(埼玉新聞3/8)○植樹祭イベント(4/3埼玉新聞、4/6読売、朝日、埼玉新聞)○コエド牧場(4/5埼玉新聞) 、印刷工業組合イベント(4/16埼玉新聞)○4/17日経新聞(施設をリノベ、起業支える)○オーガニックマルシェ(4/25日本農業新聞)○幸手イベント(4/28ニッキン)○雑誌4/10るるぶ埼玉版 ○GAME DIGG(Webメディア 4/3 アルテマ、マイナビニュース、4/4ゲームメーカーズ、4/12 電撃オンライン、4/17 4Gamers) ○まちかどモーターギャラリー(4/8フリーネット、Carview、4/10 Web Cartop、5/7東京新聞、5/4 JAF Mateオンライン ○4/15 Ourage(ブログ 施設紹介) ○5/7 東武鉄道 川越お散歩手帳</p>
SNS	<p><Instagram> ○ 総投稿数：コエドテラス関連 →113コンテンツ ○ 総閲覧数：330,751件 ○ 総いいね数：9,968件 ○ 総保存数：457件 ○ タグ投稿：#りそなコエドテラス …約1,800件 ○ インフルエンサー取材…10件</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">         </div>

Gr従業員の越境体験の場として人財シナジーを創出

越境体験内容

副業・ジョブアイアル参加者アンケート抜粋

種別	時期	参加者数	目的・内容
①副業	2023/12※ 2024/5～ ※ロゴデザイン	①ロゴデザイン : 2名 ②写真撮影 : 1名 ③イベント補助 : 1名 ④館内案内 : 10名 ⑤SEO対策 : 1名 ⑥飲食モニター : 2名 合計 : 17名	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 従業員への越境体験を通じた柔軟・斬新な発想力の養成 ▶ 幅広い社内ネットワークの形成 ▶ 新たな知見の現場での活用
②ジョブトライアル	開始時期 : 5/21キックオフミーティングより始動	①創業・起業家支援 : 4名 ②施設プロモーション : 7名 ③イベント参画・補助 : 8名 ④テストマーケティング : 3名 合計 : 22名	<ul style="list-style-type: none"> ① 起業家の伴走支援/テストマーケティングイベント開催 ② Instagramでの施設プロモーション投稿の作成(動画/写真) ③ イベント運営サポート
③共創アンバサダー	開始時期 : 5/21キックオフミーティングより始動	①営業店 : 16名 ②本部 : 16名 合計 : 32名	<ul style="list-style-type: none"> ① 営業店自主企画のイベント開催、RKB+やチャレンジショップ、シェアキッチン紹介や情報トスアップ等 ② 本部施策のテストマーケティングやサービス情宣としてりそなコエドテラスを活用（県内地域の農と食の魅力発信イベント企画開催等） ③ その他 : 副業・趣味実現

応募理由	業務経験等が活かされた点	銀行業務に活かされた点
<p>副業 : イベント補助 大学生時代における小学生向けイベントや子ども食堂等のボランティア活動の経験を活かせると考えたため</p>	<p>「金融+」を実践できたのは良かった 銀行業務ではローテラーとして窓口相談を担当していたため、初対面の方とも緊張せずに話すことができた点が役に立った</p>	<p>支店のある地域についてもっと知り、地域の特色や抱えている問題についての金融教育セミナー等の開催をしてみたいと思うようになった</p>
<p>副業 : 館内案内 コエドテラスの魅力を皆さんに知って頂きたかった、川越の観光などを盛り上げて地域貢献したかった</p>	<p>支店勤務だけでは知りえない経験ができた 僚店で勤務の方と交流や情報交換もできた 個人渉外として初対面の方とお話するのは慣れており、活動に活かされた</p>	<p>コエドテラスの話題を顧客との会話のきっかけにし、埼玉りそなが社会貢献していると感じて頂くことで当社のブランド力を上げている</p>
<p>副業 : 館内案内 旧川越支店での勤務経験があり、旧川越支店の建物や川越の街に愛着があるため</p>	<p>一期一会のお客さまとのふれあいや会話はとても楽しく、川越の歴史の再認識にもつながり、とても有意義な経験だった 銀行業務で身に着けたマナーが役立った</p>	<p>多くのお客さまに積極的にインスタフォローの声掛けをした経験は、店頭でのGアプリ等推進の声掛けにもつながった</p>
<p>副業 : SEO対策 自己研鑽を通じて習得したデジタルマーケティングの知識を活かすため応募しました。</p>	<p>・ラボたまやコミュニティコムが協力的で働きやすい環境だった銀行業務で習得したレポートリングのスキルが活かした</p>	<p>企業HPの仕組みを知り、HP保守管理業者とやり取りをすることで、銀行業務では得られない経験ができた</p>
<p>ジョブトライアル : イベント補助 今後のキャリアへの選択肢を広げたいという思いと、銀行業務を土台とした地域貢献に携わりたと思ったから</p>	<p>飲食業のイベント企画・商品プロモーション施策を考える経験は全てが新鮮で、非常に充実した研修期間だった あらゆるリスクを検討したり、飲食関連法規制を勘案する事や消費者目線をもって案を考えることは非常に難しかった</p>	<p>飲食業を融資業務で担当する際、決算書以上の背景にも興味を抱くようになった あらゆるリスクを鑑みた上で具体案を考える意識が培われた</p>



1. 背景・目的



- ▶ 社会課題解決への取組みを通じて社会的価値を創出し、不動産の価値向上と企業の持続的成長を目指す取組みとして、令和5年、国交省が『**社会的インパクト不動産**』実践ガイドスを発表
- ▶ "埼玉県の産業・観光・暮らしの好循環を創出し、地域の未来をプラスにする唯一無二の共創拠点"の実現に向けて、本モデルを基に**社会的インパクト不動産**として位置付け、**社会へのインパクトを明確化し開示**することで、提供価値を対外的に発信

2. 社会的インパクト構成

取組分野	<ul style="list-style-type: none"> 産業創出 まちの賑わい創出
提供機能	<ul style="list-style-type: none"> 地域産業の育成・創出に向けた取組み・地域のブランディングや事業者との協働（コワーキングスペース・シェアキッチン等）まちの魅力向上に向けたイベント開催等
期待効果	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #003366; color: white;">創業意欲喚起</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #003366; color: white;">起業家コミュニティ・ネットワーク形成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #003366; color: white;">シビックプライド醸成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #003366; color: white;">昼・夜の賑わい</div> </div>

- 社会的インパクト
- 地域経済・産業が活性化する産業創出エコシステムの創出
 - 企業・起業家コミュニティ形成による地域での共創価値創出
 - 地域経済・産業が活性化する産業創出エコシステムの創出
 - 地域の未来100年を支えるまち・ひと・しごとの創生
 - 歴史的建物と文化・イノベーションが融合する、歴史と先進性を併せ持った随一の価値創出

3. 成果指標（KPI）の構成

重点モニタリング期間は以下の通り。既存設定KPIに加えてフォローしていく

- 初期：開業から2年間
- 中期：開業から3年目～4年目
- 長期：開業から5年目以降

	評価項目	頻度	捕捉方法
初期	地域製品の取扱品目数、売上高	四半期	施設内集計
初期	来場者数	四半期	施設内集計
初期	関連HP・SNS閲覧数	四半期	HP管理データ集計
初期	新規出店相談件数	各年	担当者による集約・集計（ヒアリング）
初期	イベント開催件数	四半期	施設内集計
中期	伴走支援実施者数	各年	担当者による集約・集計
中期	事業共創マッチング数	各年	追跡調査、ヒアリング、相談件数を元に集計
中期	学生関連案件数	各年	施設内集計
長期	施設周辺エリア活性化件数	各年	追跡調査、ヒアリング、相談件数を元に集計
長期	起業実現数	各年	追跡調査、ヒアリング、相談件数を元に集計
長期	産業振興における広域的インパクト(後継者不足の解消)	5年毎	公的統計より集計
長期	地域満足度(周辺施設数)	各年	独自アンケート調査実施